

## 第5回東方経済フォーラム 日ロビジネスラウンドテーブル プログラム(案)

(2019年9月2日時点)

<p>2019年 9月5日(木) 9:00～10:30</p> <p>会場: 極東連邦大 学 Building B, level 5, Conference hall 3</p> <p>言語: 日本語及び ロシア語(同 時通訳)</p> <p>参加者数: 日ロ合わせ て350名程度</p>	<p><b>「海と陸の大動脈がもたらす新たな極東開発」</b></p> <p>極東は大きな変化の真ただ中にある。日露間の8項目の「協力プラン」やロシア政府の振興策を背景に、日露の新たなビジネスが生まれる場となっているが、こうした流れの更なる加速に繋がる、海と陸における新たな大動脈が生まれるようとしている。</p> <p>北極海航路はその一つである。本年6月の首脳会談において日本企業の参画が決定した北極LNG2を始めロシアの有する豊富なエネルギー資源は、この新たな航路を経て、旺盛な需要を抱えるアジアに届けられる。極東は、北極圏とアジアをつなぐ重要な役割を果たすことが期待されている。</p> <p>そして、広大なロシアの東西をつなぐシベリア鉄道もまさしく新たな大動脈へと変化を遂げつつある。日露両国の実証実験を通じ、そのポテンシャルが再確認されつつある。現在、更なる効率化が進められているシベリア鉄道は、極東とモスクワのみならず、はるかヨーロッパをも結び、ユーラシア大陸の両端の間のヒトやモノの流れを爆発的に増大させることによって、極東経済の在り方そのものを変えていこう。</p> <p>今回のラウンドテーブルでは、日露双方のビジネスの代表者を招き、この大きな変化を遂げつつある陸海空の大動脈がもたらす、新たなロシア極東におけるビジネスの可能性、協業の在り方について議論したい。</p>
	<p><b>主催:</b> (一社)ロシアNIS貿易会 露日ビジネスカウンシル/実業ロシア ロシア対外経済銀行(VEB)</p> <p><b>共同モデレーター:</b> アレクセイ・レピク 「実業ロシア」会長/露日ビジネスカウンシル議長 朝田 照男 経団連 日本ロシア経済委員長/丸紅 常任顧問</p> <p><b>挨拶:</b> マクシム・オレシキン 経済発展大臣 挨拶 世耕 弘成 経済産業大臣 挨拶 (予定) ウラジミール・ヤクシェフ 建設・住宅公営事業大臣 片山 さつき 内閣府特命担当大臣 (予定)</p> <p><b>発言:</b> ニコライ・ツェホムスキー 対外経済銀行筆頭副総裁 朝田 照男 経団連 日本ロシア経済委員長/丸紅 常任顧問 オレク・ベロジョロフ (株)ロシア鉄道社長 飯島 彰己 三井物産 代表取締役会長 ヴァジム・シュヴェツォフ SOLLERS会長 内山田 竹志 トヨタ自動車(株) 代表取締役会長 ロマン・トロツェンコ AEONグループ会長 植木 義晴 日本航空(株) 代表取締役会長 ロシア側発言者⑤ (調整中) 佐々木 伸彦 日本貿易振興機構 理事長</p> <p><b>コメント:</b> スタニスラフ・ヴォスクレセンスキー・イワノヴォ州知事 尾身 幸次 STSフォーラム理事長 アナトリー・アルタモノフ・カルーガ州知事 平井 伸治 鳥取県 知事</p>